

200/300 シリーズによって管理されるスイッチの RMON イベント

目標

トラフィックが定義済みしきい値を超過する場合リモート ネットワーキング モニタリング (RMON) はスイッチを予防的に監視し、トラフィック 統計を送信します アラームを可能にします。 RMON の長所は必要とするときそれ情報を送信できますスイッチは SNMP マネージャからの要求が情報を送信 することを必要としないことです。これはマネージャとスイッチ間のトラフィックを減らします。

200/300 シリーズでアラームが引き起こされるとき管理されたスイッチ、どんなイベントがアラームを引き起こすどのような応答が発生するか判別でき。 イベントログはアラームを記録します引き起こされた。 この技術情報はイベント (アラームが引き起こされるとき発生する操作を) 作成する方法を判別しアラームを引き起こす、調べますイベントログを説明します基準を。

適当なデバイス

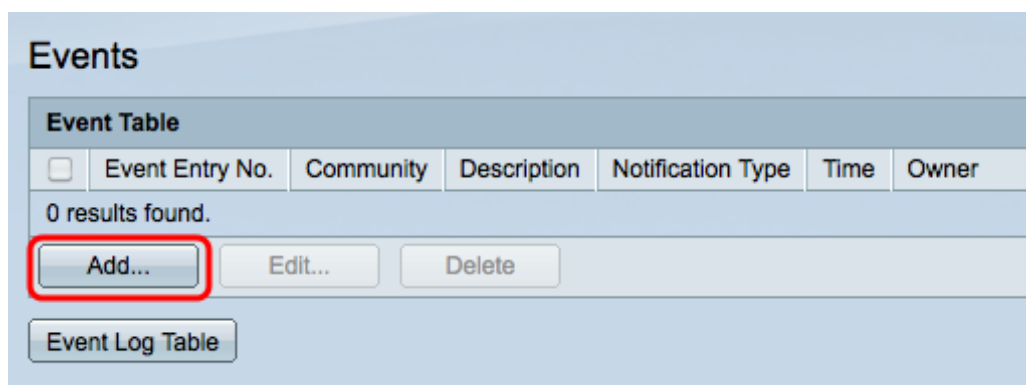
- SF/SG 200 および SF/SG 300 シリーズによって管理されるスイッチ

[Software Version]

- 1.3.0.62

RMON イベントを作成して下さい

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインは統計情報 > RMON > Events 『Status』 を選択し。 Events ページは開きます:



<input type="checkbox"/>	Event Entry No.	Community	Description	Notification Type	Time	Owner
0 results found.						
<input type="button" value="Add..."/> <input type="button" value="Edit..."/> <input type="button" value="Delete"/>						
<input type="button" value="Event Log Table"/>						

ステップ 2. イベント テーブルの新しいイベントを作成するために 『Add』 をクリックして下さい。 追加 RMON イベント ウィンドウは現われます。

Event Entry: 1

Community: (17/127 Characters Used)

Description: (20/127 Characters Used)

Notification Type: None
 Log (Event Log Table)
 Trap (SNMP Manager and Syslog Server)
 Log and Trap

Owner: (4/160 Characters Used)

ステップ 3. (オプションの) は含まれているべき SNMP コミュニティストリングを入力しますアラーム メッセージが Community フィールドで送信 される時。

ステップ 4. Description フィールドのアラームを引き起こす イベントの説明を入力して下さい。 これはイベントにアラームを接続するのに使用される名前です。

ステップ 5. そのアクションに通知の種類 フィールドのこのイベントからの結果対応する Radio ボタンをクリックして下さい。 利用可能な オプションは次のとおりです:

- なし—操作はイベントのためのアラームが消えると発生しません。
- ログ (イベントログ 表) —アラームが消えるときイベントログ 表に Log エントリを追加して下さい。
- トラップ (SNMP マネージャおよび Syslog サーバ) —アラームが消えるときリモート ログ サーバにトラップ (アラーム メッセージ) を送信 して下さい。
- ログおよびトラップ—アラームが消えるとき Log エントリをイベントログ 表に追加し、リモート ログ サーバにトラップを送信 して下さい。

ステップ 6. Owner フィールドのイベントを設定したユーザまたはデバイス名前を入力 して下さい。

ステップ 7. 設定を保存し、次に出口の近くで追加 RMON イベント ウィンドウをクリック するために『Apply』 をクリック して下さい。

Events

Event Table						
<input type="checkbox"/>	Event Entry No.	Community	Description	Notification Type	Time	Owner
<input type="checkbox"/>	1	Default Community	Total Bytes Recieved	Log and Trap		User

イベントを編集するためにステップ 8. (オプションの) チェックはイベント テーブルのイ

イベント チェックボックス 『Edit』 をクリックし。

イベントを削除するためにステップ 9. (オプションの) チェックはイベント テーブルのイベント チェックボックス 『Delete』 をクリックし。

RMON alarm を定義して下さい

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインは統計情報 > RMON > アラーム 『Status』 を選択し。ALARMS ページは開きます:

ステップ 2.新しいアラームを作成するために 『Add』 をクリックして下さい。追加アラーム エントリ ウィンドウは現われます。

Alarm Entry: 1

Interface: Port GE1 LAG 1

Counter Name: Total Bytes (Octets)- Receive

Sample Type: Absolute Delta

✳ Rising Threshold: 250000 (Range: 0 - 2147483647, Default: 100)

Rising Event: 1 - Total Bytes Recieved

✳ Falling Threshold: 20 (Range: 0 - 2147483647, Default: 20)

Falling Event: 1 - Total Bytes Recieved

Startup Alarm: Rising Alarm Falling Alarm Rising and Falling

✳ Interval: 100 sec. (Range: 1 - 2147483647, Default: 100)

Owner: User (4/160 Characters Used)

Apply Close

ステップ 3 インターフェイス フィールドで、アラームがに定義し、次に適切なドロップダウン リストからインターフェイスを設定 されることインターフェイスを選択するために appropriate オプション・ ボタンをクリックして下さい。

- port — スイッチの物理ポート。
- ラグーポートの集まり シングル ポートとして機能する。

ステップ 4 カウンター名ドロップダウン リストから、測定されるべき変数を選択して下さい。

ステップ 5 サンプル Type フィールドで、アラームを生成するためにサンプリング法に対応する Radio ボタンをクリックして下さい。

- absolute — アラームはしきい値が超えるとき引き起こされます。
- 差分—最後の見本抽出された値は現在の値から引かれます。アラームは値の違いがしきい値を超過する場合引き起こされます。

ステップ 6 上昇しきい値 フィールドでは、上昇しきい値 アラームを引き起こす値を入力して下さい。

ステップ 7 上昇イベント ドロップダウン リストから、上昇イベントが引き起こされるとき実行されたべきイベントを選択して下さい。このイベントは *Events* ページで作成され、上でセクションで説明されます。

ステップ 8 下降しきい値 フィールドでは、下降しきい値 アラームを引き起こす値を入力して下さい。

注: 上昇しきい値が超えた後、追加上昇を警告するアラームは下降しきい値がまた超えるまで発生しません。下降しきい値が超えたら、上昇しきい値 アラームは再度アクティブになります。

ステップ 9 : 下降イベント ドロップダウン リストから、下降イベントが引き起こされるとき実行されたべきイベントを選択して下さい。

ステップ 10 : 始動アラーム フィールドで、方式に対応する Radio ボタンをクリックして下さいイベントを引き起こす。

- 上昇を警告するアラーム—上昇閾値は上昇しきい値 アラームを引き起こします。
- 下降アラーム—下降値は下降しきい値 アラームを引き起こします。
- 上がり、落下—上昇および下降値はアラームを引き起こします。

ステップ 11 : 間隔 フィールドでは、アラーム 間隔に入ってください (秒で)。これはアラームを引き起こすために条件は満たされるかどうかを確認する前にその時間数 アラーム待機です。

ステップ 12 : Owner フィールドでは、アラームを作成したユーザのアラームか名前を受け取るネットワーク管理システムの名前を入力して下さい。

ステップ 13 : 変更を保存し、次に終了の近くで追加アラーム エントリ ウィンドウをクリックするために『Apply』 をクリックして下さい。

RMON イベント ログ テーブルをチェックして下さい

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインは統計情報 > RMON > Events 『Status』 を選択し。Events ページは開きます:

<input type="checkbox"/>	Event Entry No.	Community	Description	Notification Type	Time	Owner
<input type="checkbox"/>	1	Default Community	Total Bytes Recieved	Log and Trap		User

Buttons: Add... Edit... Delete

Event Log Table

ステップ 2. 表を『Event Log』 をクリックして下さい。 イベントログ 表 ページは次の情報を開き、表示する:

注: エントリはイベントログ 表にログが作成 RMON イベント セクションのステップ 5 で選択された場合その時だけ書かれます。

- イベント エントリ NO — イベントの Log エントリ番号。
- ログ NO — イベント内のログ数。
- タイム ログ Log エントリの時。
- description — アラームを引き起こした イベントの説明。